

# わたしの聖戦ジハード

医学ジャーナリスト・医学博士

植田美津恵

194

推奨したのが始まり。また、これに先立ち、阪急電鉄が「お歩きになる方のために左側をお空けください」とアナウンスし、た時期があつたという。

## エスカレーターは歩く？止まる？

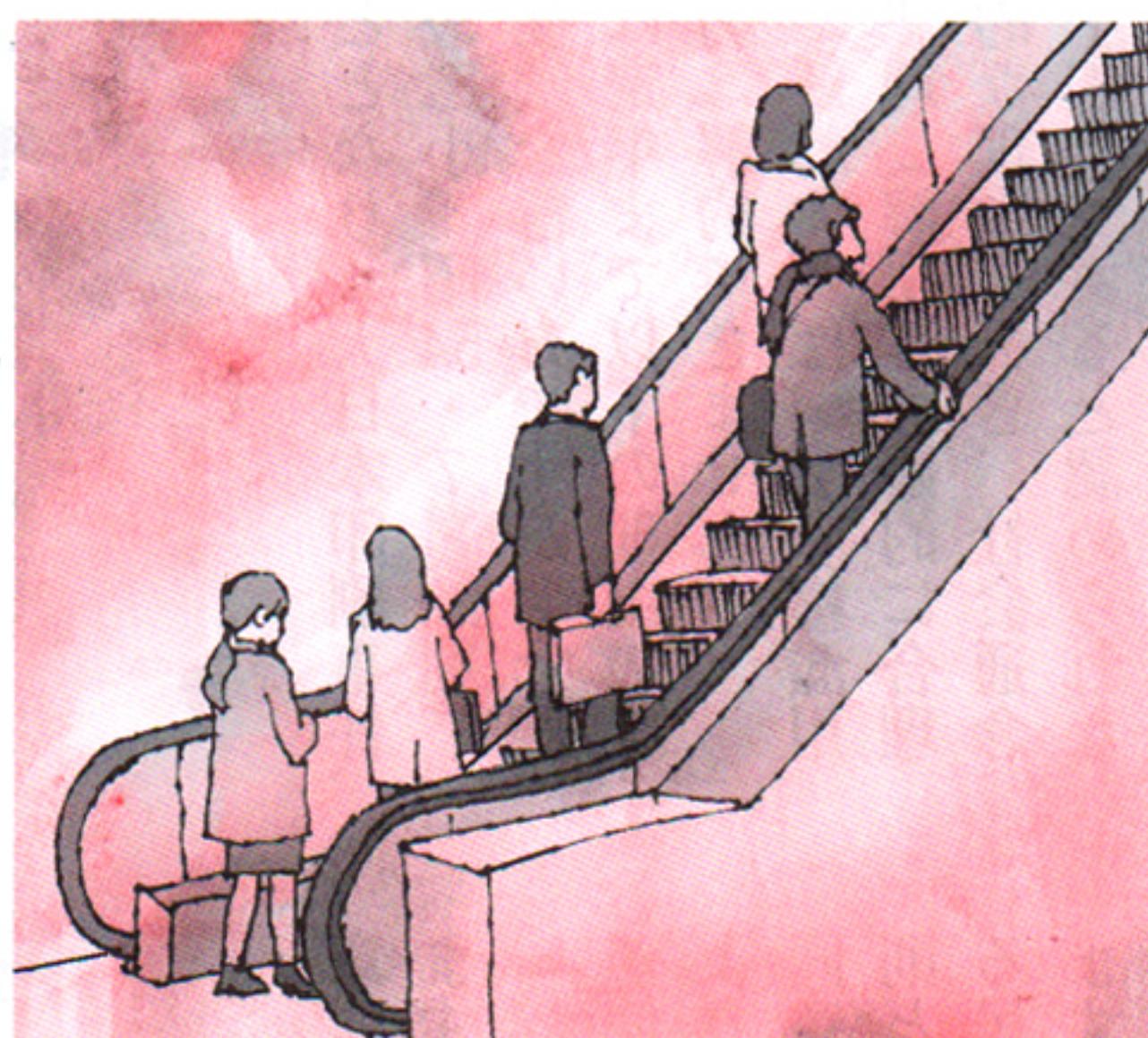
エスカレーターに乗った時、左側に立ち止まつたままの人を横目に右側を歩いて昇り降りした経験は、誰もが持っていると思う。

特に急いでいる時は、エスカレーターのゆづくりした動きがもどかしい。いけないことだとわかっていていながらつい……。という人も多いだろう。年瀬も迫った12月、

JR東日本は、「エスカレーターを歩かないで」というポスターとともに、「エスカレーターでは歩かず止まるよう」の呼びかけをスタートさせた。その理由は、何といつても「安全」だ。今回初めての公表らしいが、エ

スカレーターの事故で緊急搬送された人は過去5年間で7000人だとう。結構な数字だ。動く階段を歩いたり走つたりするのだから、バランスを崩し転倒する事故が起ころのはむしろ当然だ。片側を歩くより2列並んだ方が混雑は避けられるとの調査結果も明らかにされた。これもさもありなん。

面白いと思ったのは、エスカレーターを歩くようになつたのは1970年になつたのは1970年の大阪万博からだということ。それまでは2列に並んでいたものを、高西以外では右側を空ける地域がほとんど。京都は、その時々で臨機応変に左右を変えるというから、何故そうなつたかわからぬながら定着してしまった慣習の地域差はユニー



ークとしかいいようがない。

しかし時代は変わった。

この世は矛盾に満ちていて誰もがそれを実践しているわけではない。

今や効率化より安全が優れる

に。日本人はこれに弱い。

早速、アナウンスを聞いて立ち止まつたり、左側に寄る人が目立つたとの報道があつた。

しかし、正しいということと正しいから実践することとは違う。

例えばタバコがそうだ。タバコが健康被害をもたらすのはすでに明白だが、その税収のために国はせつせと売り続けている。

スカレーターに乗れたその瞬間、それまで見守っていた周囲から大きな拍手が起こつたのだ。照れながらも満面の笑顔を見せるおじいさん。エスカ

レーターが生んだ微笑ましいドラマだつた。

エスカレーターを歩く人はなくならないだろう。だつて「駆け込み乗車はやめて」というアナウンスは耳慣れて、でも駆け込み乗車をする人は一向に減らないのだから。

イラスト・伊藤栄章